単施設用

年　月　日

糖尿病代謝内科・免疫/内分泌内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「糖尿病患者における簡易神経伝達測定器を用いた神経障害の重症度と糖尿病網膜症病期の相関についての検討」への協力のお願い

糖尿病代謝内科・免疫/内分泌内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019 年 1 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の間に、当科において、簡易神経伝達測定の検査(DPNCheck™)を受けられた方
研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日
研究目的・方法 ：
糖尿病は長期に罹病すると、手足のしびれ(糖尿病性神経障害)や視力障害(糖尿病網膜症)など患者さんの生活を脅かす合併症を引き起こします。糖尿病治療の向上によって合併症の発症や進展は減少しているものの、いまだに治療の遅れによって糖尿病網膜症が進行し失明に至ることもあります。それらを防ぐためには、無症状でも定期的に眼科を受診することが必要ですが、実際には眼科に通院している患者さんは多くはありません。近年、簡易に糖尿病性神経障害の重症度を判定できる測定器(DPNCheck™)が使用されるようになりました。DPNCheck™ から網膜症の病期が推定できるようになれば、糖尿病患者さんに眼科を受診して頂く根拠となり、網膜症の重症化予防につながると考えます。そこで、DPNCheck™ の結果と網膜症病期に関する解析をさせて頂きます。
研究に用いる情報の種類：
対象となる患者さんの
①年齢、②糖尿病罹病期間、③HbA1c、④DPNCheck™ の結果、⑤糖尿病網膜症の病期について電子カルテのデータを利用して使用させていただきます。
研究への参加辞退をご希望の場合
本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。
また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。
なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院　糖尿病代謝内科・免疫/内分泌内科
氏名：加藤　丈博

連絡先

岐阜大学大学院　医学系研究科医科学専攻　生命関係学講座　産業衛生学
電話番号：058-230-6377
氏名：酒井麻有

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp